

校長室だより



令和2年11月4日
校長 齋藤 瑞穂

いろあき 色づく秋

～安全を第一に、校外学習へ行ってきました～

11月です。朝夕の風を冷たく感じますね。先週は、1年生の生活科見学と、5・6年生の移動教室の代わりに行事がありました。それぞれ、善福寺川公園緑地と富士山のふもとまで行ってきました。私にとってもずいぶん久しぶりの校外学習でしたから、楽しみな反面、みんなが安全に行けるか、心配で少し緊張もありました。



1年生の見学は、歩いて行きました。クラスが列になり、間を開けずに道路の端を歩くことは、2年生以上の人にはもう、校外学習では当たり前のことですが、1年生にとっては初めてです。友達とおしゃべりしたくて横に荷人も

並んでしまったり、途中でめずらしいものを見つけて立ち止まり前の人との間が大きく開いてしまったり・・・その度に付きそいの先生たちから注意されながらもなんとか無事に往復し、目的の「秋さがし」は大成功でした。校庭よりずっと広い公園でのびのび活動できた1年生は、みんな満足そうなよい笑顔でした。持ち帰ったどんぐりや葉っぱですてきなお面も作ったそうですよ。

5・6年生は、クラスごとにバスに乗って出かけました。乗車前には手指の消毒、走っている間は換気システム、さらに、バスが止まるたびに窓を開けて空気を入れ替えるなど、感染症予防のために私たちもバス会社の人もみんなで協力しました。富士山近くは東京に比べるとやはり気温

が低く、上着なしではもう寒いぐらいです。その分、木々の葉は美しく色づき、辺りを秋色に染めていました。忍野八海、湧水の里水族館、河口湖フィールドセンターとかけ足で見学しましたが、中身のギュッとつまった、充実した学習になりました。さすが杉七の5・6年生、それぞれの場所ですっかり取り組んでいてりっぱでしたよ。



1年生も5・6年生も、心配だったケガなどはひとつもなく、元気に帰ってこられてホッとしました。次の行事は11月末と12月初めの土曜授業。3～6年生の太鼓の発表と、全学年の園工作品展示ですね。練習、作品作り、がんばっているかな? 「文化の秋」も楽しみです。

投句箱より

いちようがね 金に変わるよ きれいだな

5年 末崎 穂乃花 さん

今回の句は5年生の作品です。季語は「いちよう」(厳密には『銀杏散る』『銀杏黄葉』)で季節は秋。

杉七小ではプール脇などに銀杏の木が立っています。紅葉と言っても、銀杏は季節が進むと葉の色が緑から黄色に変わり、赤くなることはないまま散っていきます。ですから、銀杏の紅葉は「黄葉」と書いて「こうよう」または「もみじ」とよびます。

末崎さんは、さらに銀杏の黄葉の様子を「金に変わる」と表しました。秋の陽を浴びて銀杏の葉がキラキラ光るさまが、あざやかに想像できますね。